Letter of the M.Y. elementary school

ひ び き 南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい　かがやく子 ～

学校通信　NO.283
令和元年度 8・9 月号
令和元年　8 月 27 日

～　みんな輝いていたね　～

校長　佐藤　康晴

長い夏休みを終え、静かだった校舎内に、子どもたちの元気な声が戻ってきました。

今年は、昨年と違い、5 月に猛暑に見舞われましたが、6 月に入ると、一転して本来の梅雨空が広がり、連日、「今日はプールに入れるかな？」と心配して梅雨空を見上げる日が多くなりました。夏休みに入ると、待っていたかのような夏空が広がり、連日暑い日差しが降り注ぐ様になりました。今年も又、熱中症対策への注意喚起が連日報道される中、南山田小の子どもたちは元気に過ごしているだろうかと心配していましたが、今朝、子どもたちのきらきらした眼差しを見て、一人ひとりが、この夏休みの間に、多くの体験を積み、充実した時を過ごし、また一回り大きく成長してきた姿を見て、心から安心し、嬉しい思いをいたしました。そして、この夏休みの間、幸いに大きな事故の報告もなく、子どもたちが元気に過ごすことが出来ましたのも、保護者の皆様や地域の皆様が子どもたちの健康に留意してくださり、安心、安全な街づくりやお祭り等など、様々な取り組みをしていただいたおかげだと思っています。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。また、超大型の台風 10 号などの影響で、甚大な被害を受けた地域もあり、被害を受けた地域の一刻も早い復旧復興を心から願ってやみません。

この夏休みに、沢山の南山田っ子が活躍いたしました。7 月 20 日に行われた南山田「虫送り」（横浜市無形民俗文化財指定）には、多くの南山田っ子が参加し、自分たちが暮らす地域の歴史や行事の意味を学びました。総勢 240 本にものぼる松明を掲げ、笛の音に導かれて夕闇の中を練り歩くその姿は、ここが大都市横浜であることを忘れさせるほどの美しさがあり、濃い青色の中を幾つもの橙色の炎が一つの線になって街を染め上げる幽玄の世界観を創り出していました。子どもたちも、煌々と燃える松明を持つ手に緊張を走らせながら、どの子もドキドキしながらも満面の笑顔で歩いていました。23 日には学校便り 7 月号でご紹介しました「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」があり、都筑区の代表として、南山田小学校の 6 年生、山部　花さんが南山田小皆の応援を胸にスピーチをしました。山部さんは、丁寧に、優しく、時には力強く話しかけ、会場に集まった大勢の人たちの心に届くメッセージをし、なんと、最高賞である、横浜市長賞を受賞し、10 月に、横浜市の児童の代表として、ニューヨークの国連本部を訪問するピースメッセンジャーに任命されました。

30 日には、本校で中川小学校と一緒に区水泳記録会を行いました。どのレースでも、皆の頑張ってきた成果が出て、「自己ベストを更新！」と言うアナウンスが沢山流れました。その中から、6 年柏屋龍之介さんが 25M 平泳ぎの区新記録を出し、男子リレーで、5 年佛坂牽翔さん 6 年永山翔梧さん、臼井玲雄さん、中野文統さん、柏屋龍之介さん。50M 自由形で 5 年佛坂牽翔さん 6 年茂原　葵さんが区代表になり、8 月 23 日の市小学校水泳大会に出場し、その力を存分に発揮しました。また、6 年 3 組の子どもたちが総合学習の実践として、8 月 2・4 日に、地域の方々のご支援・ご協力をいただき、南山田、北山田のお祭りで、模擬店を出させていただきました。自分たちで考え、デザインしたラベルを貼ったサイダーを販売するなど一人ひとりが主体となって活動する姿がありました。その他にも、この夏休みの取り組みの中で、いろいろな場面で成果を発揮した子どもたちが沢山いたことと思います。皆、この頑張りを自分の自信と変えて更に向上していってほしいと、切に思っています。　令和と言う時代になって南山田小は、今年で創立 23 年目を迎えました。創立当初は、千人規模の大きな学校でしたが、近くに牛久保小学校が設立するなど、少しずつ在籍児童数が減ってきています。学校は、その現状を踏まえ、行事の精選や学習内容の見直し等の検討を始めています。10 月には、楽しみにしている運動会があり、運動会でのプログラム内容や児童の委員会活動なども、一人ひとりが主体的に活動し、最高の学習になるように見直しをしています。保護者の皆様、地域の皆様のご理解並びにご支援・ご協力をいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。